



新座中だより

学校教育目標

強く 明るく 考える

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <https://j-niiza-c-niiza.edumap.jp>

新座市立新座中学校

「12月号」

令和5年12月1日発行

誰もが安心して学習し、登校できる学校を目指します

校長 金子 文春

「校長先生は、なぜ教師になりたいと思ったのですか？」一年間に何度か、生徒からこのような質問をされます。その度に、私は正直に、次のように答えています。「実は、中学生時代にいじめられていた。毎日のように悔しい思いをしてきた。自分と同じような思いの生徒を生み出したくないと考え、教師を目指した。」あれから35年、私は中学生の頃からの夢を叶えました。しかし、理想の職業に就けはしたものの、理想とする仕事ができているのか、常に自問自答をしています。

大きな行事を経たこの時期、半分を過ぎた今年度を振り返ると「よく学んだ、よく続けた、強くなった、伸びた」、生徒の成長が幾つもあり思い浮かびます。「やっぱり学校は素晴らしい」教師になった今私には確かにこの感情があります。と同時に「中学生時代にもこのような思いを感じたかった」という悔しさがこみ上げてきます。

いじめは絶対にしてはいけません。する側は軽い気持ちからいじめを行うのかもしれない。しかし、受ける側からすると、その人の人生や心に大きな傷を負うことになります。安心の学習どころか、不安や恐怖で学校に通えなくなってしまう恐れがあるのです。生徒や若者たちの未来には、明るい希望が待っています。「自分が生きているこの世界は、こんなにも美しく、素晴らしく、感動的」と感じる場面がこれから幾度となく訪れることでしょう。そんな未来に暗い影を落とす経験は私だけで十分です。「自分（たち）と違う者を認めにくい」がいじめの理由として最も多いそうです。本校の生徒たちには、自他の違いを認め、相手を尊重し、思いやる心の指導を、これからも重点的に推進していきます。



体育祭や合唱祭等で、本校の教育活動について、お褒めの言葉をいただきました。ただ一方で、学校生活を充実させたり、心から安心して登校できないでいたりする生徒もいるはずで、そのことへの留意を忘れず、「誰一人置き去りにせず、誰もが安心して学習し、登校できる学校」の実現を、今後も全力で目指してまいります。